

吾妻中学校だより

第14号 吾妻中の庭：新年の爽やかな光

1月9日 文責 富樫

○ 自ら学ぶ生徒

○ 心豊かな生徒

○ 体たくましい生徒

今年もよろしくお祈いします 令和2年 2020がはじまりました

オリンピック、パラリンピックが日本で行われる記念すべき年が始まりました。子どもたちにとっても素晴らしい年になるよう願っています。始業式での式辞を紹介します。1つ目は社会と関わりを持とう（去年は千葉県八街市、猪苗代町の事業所、大阪・京都の修学旅行）、2つ目は自分にとっての道しるべを持とう（将来の夢や自分の生き方）、3つ目は、まだ足りないという意識を持って挑戦しようという3つの話をしました。頑張る生徒を保護者の皆様と学校で見守っていきたいと思います。今年もご協力よろしくお祈いします。

3学期の抱負

各学年の代表が冬休みの反省と3学期の抱負を発表しました。どの学年の生徒からも冬休み学習をがんばったという反省があり、学習に対する意識の高さが伝わってきました。また3学期は先輩の卒業式に向けて計画と準備をがんばって最高の形で3年生を送り出したいという後輩もありました。自分のことだけでなく周りのことも考えることができる抱負もあり生徒の成長を感じました。



県中体連スキー大会

いよいよスキーシーズンがやってきました。とは言っても今年も雪が驚くほど少なく予定では伊南でクロスカントリーが実施されるはずでしたが場所を尾瀬檜枝岐クロスカントリーコースに変えての実施になります。3名の生徒が参加します。北海道や岩手、檜枝岐等雪を求めての練習をしてきました。いろんな方々に支えられながら頑張ってきた生徒の健闘を全校生で応援しています。



受験シーズン到来

3年生にとっては大切な、緊張するシーズンがやってきました。筆記試験では3年間で学習した内容をどれだけ理解しているか。面接では3年間の中学生生活の中でどんなことを取り組んできたかが問われます。例えば生徒会活動では？常設、特設の部活動では？今まで自分自身が頑張ったことをきちんと話してできるようにしなければいけません。後悔の要因はつくりたくないよう「まだ足りない」という気持ちで最後まで粘り強く取り組ませたいと思います。

本との出会い 「吉野 彰氏」と「ロウソクの科学」

吉野 彰氏2019年リチウム電池の研究でノーベル化学賞を受賞しました。吉野少年が化学に興味を持ったきっかけになったのが、小学4年生の時に先生が薦めてくれた本（イギリスの科学者ファラデーが子どもたちを集めて行ったサイエンスショーの記録）「ロウソクの科学」という本です。1冊の本との出会いが吉野さんの人生の目標になりました。私も本との出会いを大切にしていきたいと思いました。

ちょっといい話（笑顔編）

朝、校門の前であいさつをしていると決まって大きな声であいさつをしてくれる生徒がいます。特に爽やかになるのは大きな声でのあいさつはもちろんですが**笑顔**でのあいさつです。1日の活力を与えてもらえます。自然に笑顔が出る人は周りを幸せにし、その人自身も周りから愛される人になれると思います。

学校が笑顔であふれる場所になるといいな。

毎朝笑顔で・・・おはよう

いつも感謝で・・・ありがとう

大きい心で・・・ごめんなさい